

福島・常葉会総会 古里を偲ぶ

県北地区に住む田村市常葉町（旧常葉町）でつくる「福島・常葉会」の総会は、2月5日、福島市の杉妻会館で開かれ新年度の事業計画などを決めた。会員、来賓約20人が出席した。白岩康夫会長が「安定した古里があるからこそ、われわれは離れていても安心して生活できる」などとあいさつ、来賓の坪井日良田村市常葉行政局長、土屋省一田村市議、菅野正兵ふるさと常葉交流会長が祝辞を述べた。議事ではふるさと訪問事業として、ブルーベリーの苗木を常葉町に寄贈することや市政だより配布などの新年度事業計画と予算を承認した。

懇親会で渡辺龍夫氏の手打ちそばもふるまわれ、古里の思い出話に浸りながら和やかに交流を深めた。